（様式１７【記入例】）

博士論文のインターネット公表保留延長申請書

20XX 年 X 月 X 日

構造分子科学専攻長　殿

博士論文題目　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

学位取得月　　20XX 年 X 月

学位記番号　　甲 XXXX

申請者（著者）　総研　太郎

標記論文の全文に代えてその要約したものを公表することとする期間を延長することを希望いたします。

（１）事由

・・・・・・・・・・

（２）当初の上記事由が消滅する予定時期（20XX 年 X 月 X 日）

（３）延長後の消滅予定時期（20XX 年 X 月 X 日）

原則として、具体的な日付を記入する必要があるが、特別の事情があり、事由の解消の見通しが立たない場合は「未定」とすること。

専攻委員会の審議結果［　　年　　月　　日実施］

以下は、専攻事務担当係が記入する。

専攻長印（公印）

（備考）

１．用紙の大きさは、日本工業規格（JIS）A4 縦型とすること。

２．公表はインターネットの利用により行われます。

３．**（３）に記載の「予定時期」が到来した時点で、自動的に総合研究大学院大学リポジトリにおいて、博士論文全文を公表します。**延長後の消滅予定時期が到来してもなお、事由が消滅しないことが見込まれる場合は、予定時期までに、専攻長宛に本紙を改めて提出すること。

４．予定時期到来前に事由が消滅したため前倒しで公表を希望する場合は、総合研究大学院大学附属図書館に「様式１８（博士論文のインターネット公表保留事由の解消届）」を提出すること。

５．特別の事情があり、事由の消滅時期の見通しが立たない場合は、（３）に「未定」と記入し、将来的に事由が消滅した場合は、速やかに総合研究大学院大学附属図書館に「様式１８（博士論文のインターネット公表保留事由の解消届）」を提出すること。